

秋（10月・11月）は

つつが虫病に注意しましょう

→ つつが虫病 …病原体をもつツツガムシに刺されて発症する感染症です。

→ ツツガムシ …ダニの一種です。一部のツツガムシが病原体をもっています。



体長0.2mmほどと小さく、肉眼ではほとんど見えません。

ツツガムシは
こんなところに生息しています



畑



山林



河川敷



草むら

こんなときにつつが虫病に
感染することがあります



農作業



山登り・
ハイキング



庭仕事・草刈り

感染するとこんな症状が出ます

- 高熱
- 発疹
- 刺し口

※症状は感染してから5～14日後にあらわれます。
症状が出たときは速やかに医療機関を受診し、
畑や山林での行動について
医師に伝えてください。



感染を予防するために、こんなことに気をつけましょう

- 長袖・長ズボンなどを着用し、肌の露出を少なくする
- 外から帰ったら入浴して体を洗い流す
- 脱いだ衣類はすぐに洗濯する



つつが虫病とはどんな病気ですか？

「オリエンティア・ツツガムシ（つつが虫病リケッチア）」という病原体による感染症です。この病原体を持つツツガムシの幼虫に吸着されることによって、病原体が体内に入り感染します。

感染してから症状が出るまでの期間（潜伏期間）は5～14日で、初めは食欲不振や頭痛、発熱など風邪のような症状が出ます。熱は数日のうちに40度まで上がり、3～4日目には顔や胴体に発疹が現れます。

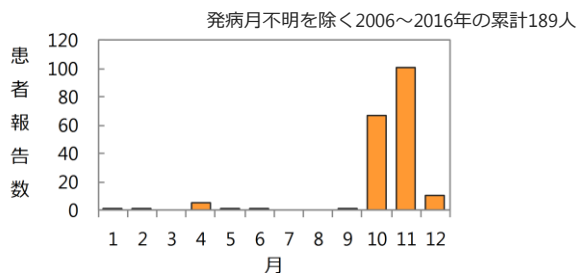
つつが虫病に有効な抗菌薬がありますので、早期に適切な治療が行われると症状は改善します。しかし、治療が遅れると、肺炎や脳炎のような症状をおこすことがあり、最悪の場合は死に至ることもあります。

なお、ツツガムシの病原体保有率は0.1～3%とされています。

感染に注意が必要な時期はいつですか？

岐阜県では、患者の発生は10月～11月に集中しています。この時期は、ツツガムシの幼虫が卵から孵化し、人や動物への吸着活動を行う時期ですので注意が必要です。

◆岐阜県のつつが虫病患者の発生月別報告数

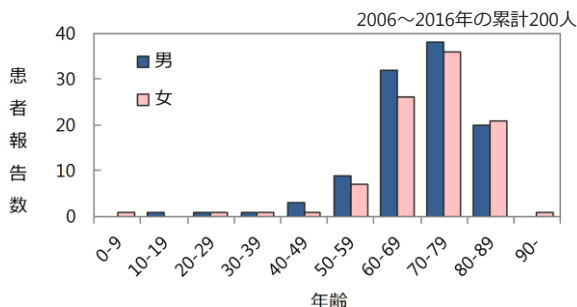


どんな人がどんな時に感染していますか？

男女ともに60歳以上の方が多く感染しています。その多くは田畑や山での農作業、草刈りや庭仕事、野山の散歩などの際にツツガムシに刺されて感染しており、患者の年齢層はこのような行動を反映していると考えられます。

自宅近くで、日常的な活動の中で感染することが多いようです。

◆岐阜県のつつが虫病患者の性別・年齢分布

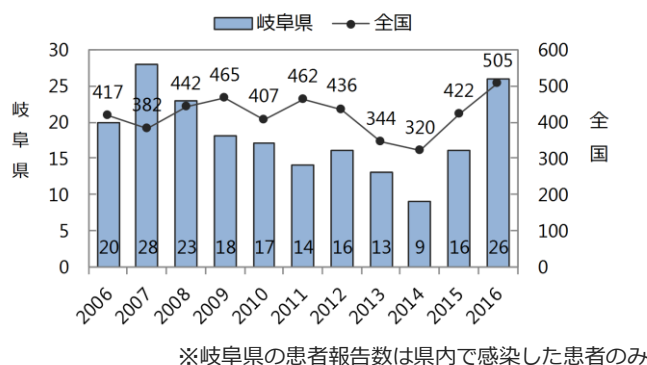


どれぐらいの患者が発生していますか？

全国では、毎年400人程度のつつが虫病患者が発生しています。

岐阜県では、年間20人程度の患者が発生しており、全国的にみると患者発生の多い県になります。

◆全国と岐阜県のつつが虫病患者報告数の推移

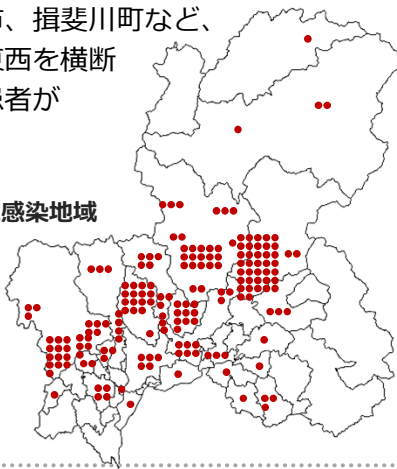


岐阜県内で患者の多い地域はありますか？

県内の広い範囲で患者の発生がみられますが、特に下呂市、郡上市、揖斐川町など、県の南北中央部、東西を横断する地域で多くの患者が発生しています。

◆つつが虫病患者の推定感染地域

推定感染地域不明を除く2006～2016年の累計179人。推定感染地域は旧市町村区分で表示。



予防方法はありますか？

つつが虫病の感染を予防するワクチンはありません。したがって、ツツガムシが身体に取り付かないようにすること、身体に取り付いても吸着する前に取り除くことが予防法となります。

畑や山林、草むらなどで活動するときは、次のことに心がけましょう。

- 長袖・長ズボン・手袋・靴下などを着用し、肌の露出を少なくする
- 帰宅後は速やかに入浴し、念入りに身体を洗い流す
- 脱いだ服は室内に放置せず、すぐに洗濯する

ツツガムシに有効な虫よけ剤を使う場合は、使用上の注意をよく読んで使用しましょう。